

回 答

団体名（日本労働組合総連合会大阪府連合会）

（要望項目）

5-1(2) 地球温暖化一般排出ガスの削減の取り組み強化について

①「地球温暖化対策実行計画」の取り組み強化

大阪府域の2009年度温室効果ガス排出量は5,004万トンで、1990年度と比べて13.5%減少している。2020年までに府域25%削減に向けて引き続き、国の「チャレンジ25キャンペーン」を企業・団体・府民に周知するとともに、府が策定した短期計画「地球温暖化対策実行計画」の2014年度までに基準年度（1990年度）比で15%削減の目標達成にむけて、民生や産業など各部門に取り組み強化を行うこと。

（回答）

府は「国の取組みと連動し、1990年度比で25%の温室効果ガス排出量を削減すること」等を目標とする「大阪21世紀の新環境総合計画」を2011年3月に策定しました。しかしながら、わが国の地球温暖化対策は、中期的な目標や政策が未だ定められていないことや東日本大震災等を受けてエネルギー政策が見直されるなど流動的な要素があります。

このような状況を踏まえ、当面は短期の具体的な対策を着実に実施するため「地球温暖化対策実行計画」を2012年3月に策定し、取組みを進めています。

なお、国においては2020年の目標の改正に向けた検証が始まっており、府も国の動向を踏まえ、適宜計画の見直しを実施していきます。

（回答部局課名）

環境農林水産部 みどり・都市環境室 地球環境課